



1.古墳墳丘・周溝の検出状況（南から）



2.古墳墳丘・周溝の検出状況（南東から）



3.古墳墳丘・周溝の断面（南から）



4.古墳全体写真（2018年度調査成果と合成）

●主な調査成果

古墳を調査しました。2018(平成30)年度調査(隣接調査区)で発見されていた円墳の続きで、今回は墳丘と周溝の一部が検出されています。

この古墳は、二段築成の墳丘であったことが分かっており、下段の墳丘は自然地形を利用しています。上段の墳丘は、石室構築と同時に盛土をして造成されたことが明らかになりました。上下の墳丘では、それぞれ葺石が発見されていますが、下段の葺石は石積のように積まれ、石が大きく、上段の葺石は貼り付けるように積まれ、小さめの石が使われていました。周溝内からは、上段の墳丘葺石から落ち込んだと考えられる小さめの石が多く見つかっています。

- 調査期間 2012年9月16日～2022年11月30日
- 事業者 中日本高速道路株式会社
- 調査原因 新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、弥生、縄文、旧石器
- 所在地 伊勢原市子易
- 遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅から北西に約3.5kmの丹沢山地南東山麓の丘陵上

